

■ ぶらり文化・美術 ■



長い歴史が息づく菊川の、
古きよき時代の
日本の風景に出会えるかも。

• 応声教院



Salt Road Guidepost

要所に設置されている塩の道標。古来塩を求めて沿岸から内陸を結んだ「塩の道」。

今はウォーキングコースとして親しまれています。



高田の渡し
太郎坊大権現

堤城跡

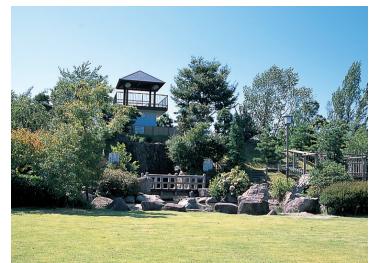
塩の道



塩の道公園

Salt Road Park

塩の道公園は、太平洋の御前崎・相良から信州へと続く「塩の道」と、日本海の糸魚川から信州へと通じる「塩の道」をイメージした公園です。中央の丘はアルプス、頂上には塩の道の交流の証として黒耀石が展示されています。散策路には、それぞれ古街道名がついており、沿線の木々が植えられ、塩の道を見事に再現しています。



©菊川市

塩の道 Salt Road

私たちの暮らしの中で塩は欠かせないものとなりました。太古の昔では、塩を求めて道を開拓してきました。太平洋側の牧之原から塩買坂を下り市場宿へ。そして菊川を渡り、掛川城下で東海道と交差し、秋葉山を越えて信州へと続いています。

塩の他、生活物資や風習、文化、そして戦にも使われ、街道と発展し、象徴的な意味合いから『塩の道』と呼ばれるようになりました。